

〇バードウォッチング入門

1. 日時：2025. 3. 8 (土) 9：50～12：00 天気 曇り
2. リーダー：U、T ききみみメンバー：4名
3. 参加者数：大人 9名 子供 4名 対象者：小学生以上
4. ねらい：バードウォッチングを通して自然の楽しさや大切さを感じてもらう。
5. 活動場所：多目的ルーム～ベランダ～芝生広場～水飲み広場～駐車場～貯水池沿い～センター
6. 活動内容：バードウォッチングのマナー、双眼鏡の使い方や図鑑の使い方を勉強し、野外に出て実際に野鳥を観察してもらう。

時間・場所	内 容
9：50 多目的ルーム	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介（ききみみメンバー） ・内容を伝える（マナー、双眼鏡・図鑑の使い方など） ・ものさしどりを覚えておくと便利！ ・初心者が6名おられたので双眼鏡の使い方をいつもより丁寧に行った。 ・「カワウ」の生態について説明する。（図鑑や写真資料を参照） *魚を大量に食べる。：「水辺のカラス」とも呼ばれる。 *樹上にコロニーをつくり、糞で木が枯れる。アユの稚魚を食べるので今は害鳥に。 *潜水に適した羽毛（油分が少ない）であるが、泳いだ後は羽を広げて日光浴をする。 *繁殖羽：顔を囲む部分と腿に白い羽毛 *V字形の編隊飛行 *漢字ドリル：カワウはねぐらやコロニーから採食地まで群れになって往復する。
ベランダ	<ul style="list-style-type: none"> ・ベランダではヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、シロハラなどが肉眼でも見る事ができ、双眼鏡の使い方の練習にもなりよかった。
水飲み広場	<ul style="list-style-type: none"> ・水飲み広場ではイカルの集団を見つけ、皆さん夢中で双眼鏡を合わせた。きれいな鳴き声も聞くことができた。カラスが巣作りのために小枝を運ぶ様子を確認できた。
貯水池沿い	<ul style="list-style-type: none"> ・桜山貯水池では婚姻色のカワウ（頭、頸、脛に細い白色羽が出てくる）を確認できた。 ・鳥合わせをする。 <p>【水辺の鳥】 カルガモ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ</p> <p>【山野の鳥】 コゲラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、シロハラ、ジョウビタキ、カワラヒワ、イカル、ホオジロ、アオジ 16種確認</p>
12：00	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート依頼 解散